

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

1. 建物概要

| | | |
|--------|-------------------------|--|
| 建物名称 | セルフ片山・新潟屋団地店 | |
| 建設地 | 東区 卸新町3丁目16-28、-29、-30 | |
| 用途地域 | 準工業地域、防火指 | |
| 建物用途 | 物販店、飲食店、 | |
| 竣工年 | 2017年5月 予定 | |
| 敷地面積 | 2,653.49 m ² | |
| 建築面積 | 1,547.36 m ² | |
| 延床面積 | 2,997.80 m ² | |
| 階数 | 地上2F | |
| 構造 | 木造 | |
| 評価の段階 | 実施設計段階評価 | |
| 評価の実施日 | 2016年7月22日 | |

2. CASBEE新潟の評価結果

| | | |
|--|----|--|
| | B+ | $BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{40.8}{40.0} = 1.0$ |
| S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★ | | |

3. 新潟市の重点項目の評価

| 重点項目 | 平均スコア | 評価 | 項目 | スコア |
|---------------------------------------|-------|----|----------------|-----|
| 1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために | 3.0 | | バリアフリー | 3.0 |
| | | | 維持管理 | 3.0 |
| | | | 更新性 | 3.0 |
| 2. 地震への取組み かけがえない人命、財産、思い出を守るために | 3.2 | | 耐震・免震 | 3.0 |
| | | | 信頼性 | 3.4 |
| 3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために | 3.0 | | 雨水排水負荷低減 | 3.0 |
| | | | | |
| 4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために | 3.8 | | 建物の熱負荷抑制 | 4.0 |
| | | | 自然エネルギー利用 | 3.5 |
| | | | | |
| 5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために | 3.3 | | 節水 | 3.0 |
| | | | リサイクル材の使用 | 4.0 |
| | | | 再利用可能性向上 | 3.0 |
| 6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために | 1.5 | | 生物環境の保全・創出 | 1.0 |
| | | | 敷地内温熱環境の向上 | 2.0 |
| 7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために | 2.5 | | まちなみ・景観への配慮 | 3.0 |
| | | | 地域性への配慮、快適性の向上 | 2.0 |

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- ①トップライトで昼光を利用している。
- ②GHPとEHPで熱源を分散させている。
- ③リサイクル材を2品目使用している。

CASBEE[®]新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

評価結果内訳

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------|--------|------------|
| 建物名称 | セルフ片山・新潟屋団地店 | 階数 | 地上2F |
| 建設地 | 新潟県新潟市東区 | 構造 | 木造 |
| 用途地域 | 準工業地域、防火指定なし | 平均居住人員 | 573 人 |
| 気候区分 | 地域区分V | 年間使用時間 | 8,760 時間/年 |
| 建物用途 | 物販店、飲食店 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2017年5月 予定 | 評価の実施日 | 2016年7月22日 |
| 敷地面積 | 2,653 m ² | 作成者 | 葛野 耕司 |
| 建築面積 | 1,547 m ² | 確認日 | 2016年7月22日 |
| 延床面積 | 2,998 m ² | 確認者 | 葛野 耕司 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (160 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 83% (133 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 83%

④上記+ 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|---|--|
| 総合 準工業地域に建つ物販店舗と飲食店舗の複合施設において、建築物の環境品質を高めるのと同時に、周辺に対する環境負荷を抑えるよう計画している。 | | その他 |
| Q1 室内環境 ①トップライトで昼光を利用している。 ②ほぼ全体的にF☆☆☆☆を使用している。 | Q2 サービス性能 ①給水=VP (B)、給湯=VP (B)、汚水=VP (B) ②GHPとEHPで熱源を分散させている。 ③壁長さ比率=0.17 | Q3 室外環境(敷地内) |
| LR1 エネルギー ①BPI _m =0.87、BEI _m =0.80 ②トップライトで昼光を利用している。 | LR2 資源・マテリアル ①リサイクル材を2品目使用している。 | LR3 敷地外環境 ①ライフサイクルCO ₂ 排出率=83% ②光害ガイドラインのうち一部を満たし、屋外広告は過半を満たす。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される